

目指す成果 ① 生涯学習に取り組む市民が増えている

▶ 生涯学習に取り組む市民が増え、その成果が地域に活かされています。

成果の達成度を測る指標							
指標名	単位	基準値	経過値				目指そう値
A 自主的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	%	28.3 (2018)	29.8 (2019)	27.6 (2020)	(2021)	(2022)	31.6 (2022)
B この1年間に自分の知識や技術を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	%	13.5 (2018)	14.9 (2019)	13.6 (2020)	(2021)	(2022)	16.7 (2022)
C 市民1人当たりの公民館・青少年会館年間利用回数	回	2.6 (2017)	2.5 (2018)	2.4 (2019)	(2020)	(2021)	2.7 (2021)
D 図書館における市民1人当たりの年間図書貸出冊数	冊	5.4 (2017)	5.1 (2018)	5.0 (2019)	(2020)	(2021)	5.8 (2021)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の度合
ア 様々な学習を手軽に行える機会や場を提供する	学級講座等運営事業	市民環境部	東岸和田市民センター	A・B・C	A
	学級講座等運営事業	市民環境部	山直市民センター	A・B・C	A
	学級講座等運営事業	市民環境部	春木市民センター	A・B・C	A
	学級講座等運営事業	市民環境部	八木市民センター	A・B・C	A
	学級講座等運営事業	市民環境部	桜台市民センター	A・B・C	A
	高等学校市民公開講座事業	教育総務部	産業高校学務課	A	A
	学級講座等運営事業	生涯学習部	生涯学習課	A・B・C	A
	公民館・青少年会館管理事業	生涯学習部	生涯学習課	A・B・C	C
	公民館・青少年会館整備事業	生涯学習部	生涯学習課	A・B	A
	生涯学習計画推進事業	生涯学習部	生涯学習課	A・B	A
イ 市民の様々な学習活動を促進する	生涯学習活動推進事業	生涯学習部	生涯学習課	A・B	A
	教育基金積立事業	生涯学習部	生涯学習課	—	
ウ 様々な図書資料に身近に触れることのできる機会や場を提供する	図書館運営事業	生涯学習部	図書館	A・D	A
	図書館管理事業	生涯学習部	図書館	A・D	C

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	411,743	445,670	447,864		
事業費	千円	234,124	319,602	313,374		
人件費	千円	177,619	126,068	134,490		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ●定期講座等の実施 地域課題や生活課題が多様化・細分化してきている現状に対して、定期講座や短期講座、子育て講座、高齢者大学等の充実を図り、持続可能な社会づくりに対応するための学習の機会や場を提供している。 ●図書館の充実 5分館における祝休日開館、旭・春木図書館の開館時間の延長など、市民が利用しやすい図書館を目指して、市民サービスの向上を図っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化に伴い、公民館の利用者層は高齢者が多く、また固定化していることから、利用者層を広めるための事業展開が必要である。また、学級講座等については、社会情勢を鑑み、web講座等様々な開催方法を検討していく必要がある。 ●図書館6館の情報・物流ネットワークのほか、資料やレファレンス能力の充実に取り組むとともに、図書館を利用していない市民ニーズの掘り起こしなど、より多くの市民に利用していただけるよう取り組む必要がある。

目指す成果 ② スポーツを楽しむ市民が増えている

▶ スポーツを楽しめる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。

成果の達成度を測る指標							
指標名		単位	基準値	経過値			目指そう値
A	スポーツ（運動）を定期的（週1回以上）にしている市民の割合	%	31.3 (2018)	31.8 (2019)	34.8 (2020)	(2021)	(2022) 45.0
B	市民1人当たりのスポーツ施設年間利用回数	回	5.6 (2017)	5.0 (2018)	4.9 (2019)	(2020)	(2021) 5.6

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の割合
ア スポーツ活動に参加できる機会や場を提供する	水泳教室事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	競技スポーツ振興事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	生涯スポーツ振興事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	KIX泉州国際マラソン事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A	A
	国際競技大会誘致事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	ワールドマスターズゲームズ2021関西開催事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	スポーツ推進計画推進事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
イ 安全に楽しくスポーツができる環境を整える	運動広場等管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	学校体育施設開放事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A	A
	市民体育館管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	市民プール等管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	市民道場心技館管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	C
	市民道場心技館指定管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	スポーツ施設情報システム事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	スポーツ推進事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	スポーツ振興団体支援事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	総合体育館管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	C
	総合体育館指定管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	スポーツ推進委員事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	市民体育館指定管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A
	運動広場等指定管理事業	生涯学習部	スポーツ振興課	A・B	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	350,936	327,520	325,080		
事業費	千円	300,393	285,366	274,312		
人件費	千円	50,543	42,154	50,768		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツ推進計画」の推進 「スポーツ推進計画」に基づき、全世代の市民がスポーツに親しみ、体力向上と健康づくりに取り組むことができるよう、スポーツ活動に関わる多様な施策を進めている。 ●ワールドマスターズゲームズ2021関西BMX競技開催に向けた準備の推進 生涯スポーツの国際大会であるワールドマスターズゲームズ2021関西におけるBMX競技の開催に向け、競技の円滑な運営と地域の活性化を図るため準備を進めている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後増えていく高齢者の世代に対するアプローチなども含め、各世代に対して時代のニーズに応じた事業展開を実施する必要がある。また、市民の体力向上に努めるとともに、社会情勢を勘案しながらスポーツに親しむことのできる環境づくりが必要である。 ●ワールドマスターズゲームズ関西2021のほか、東京オリンピック・パラリンピックなどの世界的なスポーツイベントの開催を契機とし、「する」「みる」「ささえる」スポーツとして、市民がスポーツに関わる機会を増強していく必要がある。 ●各スポーツ施設の老朽化が進む中で、市民が安心・安全に施設利用ができるよう、維持管理を行っていく必要がある。

目指す成果 ③ 多くの市民が豊かで創造性のある芸術・文化に親しんでいる

▶ 多くの人が豊かな芸術・文化に触れ、多様で自主的な芸術・文化活動が活発に行われています。

成果の達成度を測る指標							
指標名		単位	基準値	経過値			目指そう値
A	この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがある市民の割合	%	43.2 (2018)	46.8 (2019)	37.0 (2020)	(2021)	43.4 (2022)
B	市民1人当たりの文化施設（会議系諸室を除く。）年間利用回数	回	3.4 (2017)	3.4 (2018)	3.4 (2019)	(2020)	3.4 (2021)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の割合
ア 日常生活の中で、芸術や文化に触れることのできる環境づくりを進める	芸術文化普及事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	A
	浪切ホール管理事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	C
	浪切ホール及び旧港地区立体駐車場指定管理事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	A
	文化会館管理事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	C
	自泉会館管理事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	C
	自泉会館指定管理事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	A
	文化会館等使用料還付事業	魅力創造部	文化国際課	—	
	文化振興計画推進事業	魅力創造部	文化国際課	A・B	A
イ 市民の芸術・文化活動を支援する	文化団体支援事業	魅力創造部	文化国際課	A	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	445,936	426,161	420,090		
事業費	千円	419,509	406,085	398,572		
人件費	千円	26,427	20,076	21,518		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ●「文化花咲かそう推進プラン」の推進 多くの市民が豊かな芸術・文化に触れる機会を提供するとともに、自主的な文化活動が活発に行われるよう、「文化花咲かそう推進プラン」に基づき、文化会館等を中心として、特に子どもたちが芸術・文化に触れ、体験できる事業展開を図っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の軸となる次世代を育成するため、幼少期から文化に触れる機会を重点的に創出する必要がある。 ●市民による地域の文化創造活動を促進していけるよう、文化団体を支援していく必要がある。また、芸術文化の振興のみにとどまらず、観光、産業、福祉、教育などの各分野における施策と連携を推進する必要がある。

目指す成果 ① 就労機会が確保され、市内で働く人がいきいきと働いている

▶ 働く意欲のある人に就業の機会が提供され、市内の職場で働く人が、安全で快適な労働環境の下でいきいきと働いています。

成果の達成度を測る指標							
指標名	単位	基準値	経過値				目指そう値
A 働く意欲のある人に働ける場所が確保されていると感じている市民の割合	%	9.6 (2018)	9.9 (2019)	12.0 (2020)	(2021)	(2022)	9.6 (2022)
B 仕事と生活の調和が取れていると感じている市民の割合	%	46.4 (2018)	47.5 (2019)	50.5 (2020)	(2021)	(2022)	46.9 (2022)
C 労働環境に満足している市民の割合（市内労働者に限る）	%	23.6 (2018)	20.9 (2019)	29.5 (2020)	(2021)	(2022)	23.6 (2022)
D 有効求人倍率（岸和田公共職業安定所管内）	倍	1.02 (2018)	1.17 (2019)	0.86 (2020)	(2021)	(2022)	1.02 (2022)
E 「岸和田・貝塚合同就職面接会」における採用者数	人	11 (2017)	16 (2018)	12.0 (2019)	(2020)	(2021)	17.0 (2021)

行政の役割分担の方向性	事務事業名（2019）	担当部（2019）	担当課（2019）	関連指標	関与の度合
ア 雇用の機会と場を創出するための支援を行う	地域就労支援事業	魅力創造部	産業政策課	A・D・E	A
イ 市内の事業所の勤労者福祉対策を支援する	勤労者互助会支援事業	魅力創造部	産業政策課	B	A
	中小企業共済加入促進事業	魅力創造部	産業政策課	—	
	日雇健康保険事務事業	魅力創造部	産業政策課	—	
ウ 市内で働く労働者の権利が守られる環境づくりを支援する	勤労者団体活動支援事業	魅力創造部	産業政策課	B	A
	労働相談事業	魅力創造部	産業政策課	B	A
	労働教育啓発事業	魅力創造部	産業政策課	B	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	34,911	28,922	26,015		
事業費	千円	13,262	12,832	10,593		
人件費	千円	21,649	16,090	15,422		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	●就労支援の推進 雇用の確保・定着を支援するため、関係機関と連携し、就職面接会や企業説明会を通じて地元企業の魅力を発信するとともに、就職希望者との的確なマッチングを図っている。また、就職に役立つ資格取得講座やセミナーを開催し、就労支援を推進している。
課題	●労働力人口の減少等による担い手不足が深刻化していることから、職種に違いはあるものの比較的就職しやすい状況にあるが、引き続き就労環境を見守り、適切に求人・求職者のマッチングを図る必要がある。

目指す成果 ② 障害者がいきいきと暮らしている

▶ 地域に障害者の活動や社会参加の場があり、その人らしくいきいきとした生活を送っています。

成果の達成度を測る指標							
指標名		単位	基準値	経過値			目指そう値
A	長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	%	45.9 (2018)	42.3 (2019)	45.5 (2020)	(2021)	46.4 (2022)
B	就労継続支援及び就労移行支援サービスの1か月当たりの利用日数	日	9,634 (2017)	11,320 (2018)	11,505 (2019)	(2020)	13125 (2021)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の割合
ア 障害者の雇用や社会参加の機会や場を充実させる	重度障害者等タクシー助成事業	福祉部	障害者支援課	A	A
	障害者福祉団体支援事業	福祉部	障害者支援課	A	A
	地域生活支援事業	福祉部	障害者支援課	A	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	503,361	501,312	489,672		
事業費	千円	447,554	443,625	436,119		
人件費	千円	55,807	57,687	53,553		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	<p>●障害者の社会参加を促進 誰もがお互いの個性と人格を尊重して、共に生きることができる地域社会を実現するため、手話が言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解促進と手話の普及を図っている。また、障害者スポーツ大会実行委員会（障害者団体）と連携し、国・府・阪南地区のスポーツ大会への参加支援や市主催のスポーツ競技大会の運営を行い、障害者の機能維持向上、交互交流や社会参加の促進を図っている。</p>
課題	<p>●障害者の積極的な社会参加を促進するため、移動支援やタクシー助成の周知を徹底するとともに、障害者支援に関する課題やニーズを的確に把握し、より良い支援につなげることが重要である。</p>

目指す成果 ③ 高齢者がいきいきと暮らしている

▶ 高齢者が様々な場面で社会活動に参加し、生きがいをもって生活しています。

成果の達成度を測る指標							
指標名		単位	基準値	経過値			目指そう値
A	生きがいを感じることもある65歳以上の市民の割合	%	49.3 (2018)	50.8 (2019)	44.6 (2020)	(2021)	(2022) 49.3 (2022)
B	登録者数	人	1,038 (2018)	1,149 (2019)	1,099 (2020)	(2021)	(2022) 1,250 (2022)
	シルバー人材センター 就業件数	件	952 (2017)	915 (2018)	868 (2019)	(2020)	(2021) 1,067 (2021)
C	老人クラブ会員数	人	19,598 (2018)	18,864 (2019)	17,700 (2020)	(2021)	(2022) 20,000 (2022)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の度合
ア 高齢者の様々な生きがいづくりの機会や場を提供する	高齢者ふれあいセンター朝陽指定管理事業	福祉部	福祉政策課	A	A
	長寿慶賀事業	福祉部	福祉政策課	A	A
	浜老人集会所指定管理事業	福祉部	福祉政策課	A	A
	老人クラブ運営助成事業	福祉部	福祉政策課	A・C	A
イ 高齢者の就労の場を提供する	シルバー人材センター運営支援事業	福祉部	福祉政策課	B	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	74,448	58,136	54,474		
事業費	千円	70,708	54,646	51,453		
人件費	千円	3,740	3,490	3,021		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	● 高齢者の社会参加を促進 高齢者が地域の社会活動に参加し、誰もが活躍できる社会の実現に向け、様々な支援を実施している。
課題	● 社会の担い手である高齢者の意欲及び能力に応じた雇用、就業機会の確保を図るなど、必要な施策を推進する必要がある。 ● 高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域コミュニティにおける活動のため、老人クラブに対する多様な活動支援が求められている。

目指す成果 ① 郷土の文化がしっかりと引き継がれている

▶ 岸和田の歴史や文化が発掘・保存・発信され、多くの人が理解し、しっかりと次世代へ引き継がれています。

成果の達成度を測る指標							
指標名	単位	基準値	経過値				目指そう値
A 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれていると感じている市民の割合	%	56.6 (2018)	59.1 (2019)	59.3 (2020)	(2021)	(2022)	64.9 (2022)
B 市指定文化財の数	件	45 (2017)	45 (2018)	45 (2019)	(2020)	(2021)	45 (2021)

行政の役割分担の方向性	事務事業名 (2019)	担当部 (2019)	担当課 (2019)	関連指標	関与の割合
ア 郷土の歴史や文化に触れることのできる環境をつくる	郷土資料等展示事業	生涯学習部	郷土文化課	A	A
	郷土文化普及事業	生涯学習部	郷土文化課	A	A
	濱田青陵賞事業	生涯学習部	郷土文化課	A	A
イ 岸和田の歴史や文化を保存・活用する	岸和田市歴史的町並み保全基金積立事業	まちづくり推進部	都市計画課	—	
	歴史的景観保全支援事業	まちづくり推進部	都市計画課	A	A
	岸和田市文化財保護基金積立事業	生涯学習部	郷土文化課	—	
	発掘調査・史跡整備事業	生涯学習部	郷土文化課	A・B	A
	文化財保護事業	生涯学習部	郷土文化課	A・B	A
	文化財保存支援事業	生涯学習部	郷土文化課	A・B	A

目指す成果に係る経費	単位	2017	2018	2019	2020	2021
総コスト	千円	55,437	58,987	56,261		
事業費	千円	23,175	24,612	21,429		
人件費	千円	32,262	34,375	34,832		

目指す成果に係る現状と課題	
現状	●岸和田城庭園（八陣の庭）保存と活用 国の指定名勝である岸和田城庭園（八陣の庭）の保存活用計画に基づき、保存修復に向けた調査を行うなど、歴史的まちづくりを進めている。
課題	●文化財についてより情報発信を行い、地域の特色や特徴への理解を促進することで、郷土愛の育成のみにとどまらず、地域のまちづくりに活かせるよう進めていく必要がある。 ●国指定、府指定、市指定、未指定文化財の把握と精査に努め、指定件数を増やし文化財の保護と周知を行っていく必要がある。